

# 香林寺だより

第九十六号

平成三十年十二月吉日

平成最後の師走を迎え今年もあと僅かとなりました。檀信徒の皆様にはご清栄のことと存じます。

さて、以前より考えておりました合祀供養墓がまもなく完成の運びとなりました。

香林寺として考えている合祀供養墓は、後継者の不在等により墓仕舞いを止む 無くされる檀家さんを合祀供養するものです。檀家さんの将来への不安をなくし、安心して頂く為に建立することと致しました。それ故に、檀家さん専用であり合祀埋葬後の改葬ができない事、等制約はありますが、それぞれのご事情により柔軟に考えてまいりたいと思えます。

何かございましたらご相談ください。正面参道最初の階段を上った処に、「萬霊塔」と建長寺管長猊下に揮毫を頂いた合祀供養墓を建設中です。ご来山の折にでもご覧ください。

最後になりましたが、今年も多くの檀信徒の方々にご協力を頂きながら一年を過ごしてまいりました。御礼を申し上げますと共に、来年が良き年となることをお祈り申し上げます。

香林寺 住職 岡本量寿 合掌

## 檀 信 徒 各 位

### 一、除夜の鐘 厳修 十二月三十一日 午後十一時から 午前一時まで

当山ではご来山の方に鐘をついていただき千支のお守りを差し上げております。又、世話人、ボーイスカウトの甘酒の接待、売店等もあります。どうぞお出かけ下さい。

尚、午前一時で打ち上げとします。

### 一、初 詣 どうぞお出かけください

最近初詣には地域の神社、佛閣にお出かけになる方が多くなりました。当山の五重塔をはじめ諸佛は次の功德があります。どうぞご参拝下さい。

御 本 尊	身代り観音	厄 除	一月一日～三日
五 重 塔	釈迦初転法輪像	学 業	一月一日～三日
七 福 神	布 袋 尊	招 福	一月一日～三日

その他境内には職人の信仰を集める聖徳太子殿・三十三観音・三百観音・慈母観音・延命地藏等が祀られております。どうぞおさそい合わせの上初詣にお出かけ下さい。

右記期日以外の日は閉扉されている場合が多いので、ご了承下さい。

尚、元旦午前零時より、二日、三日午前十時より本堂にて改旦祈願(今年一年の平安と無事を祈願) 回向を行います。ご一緒にお参りされる方は本堂よりお上がり下さい。(暖房はありません)

### 一、武州稲毛七福神 一月一日～三日 午前九時～午後四時

武州稲毛七福神は旧橋樹郡生田村の寺院に祀ってあるもので、別紙ご案内のように元旦から三日迄の午前九時から午後四時まで初詣のお参りをしていただいております。どうぞよい年になりますようお出かけ下さい。当山には七福神の内「布袋尊」が祀っております。

尚、所定の日時以外はお参りのできない場合もありますので、ご承知おき下さい。

### 一、元旦参拝と正月供 一月一日 午前九時三〇分～午後三時三〇分

当山では檀信徒の皆様、元旦のご本尊様の参拝と共に年始に来ていただいております。この年始の折の正月供と八月の盆供は寺の護持の為、檀信徒の皆様にご協力をお願いしております。

尚、お見えにならない方もありますが、檀家として全員の方にお願ひしておりますので、当日都合がつかない場合には郵送でお送りいただいても結構です。

※元旦の午後二時頃、恒例の細山祭ばやし保存会の獅子舞が参ります。どうぞお誘い合わせの上お出かけ下さい。

### 一、年頭回礼 守護札配布 一月四日 午前八時～午後六時

檀信徒の皆様のお宅に御本尊守護札を持参して伺います。この守護札は当山に古来より伝わる版本を使って一枚一枚手で刷ったもので、前述の初詣のところに書きました通り、正月三ケ日の間檀信徒守護の祈禱をしてあります。どうぞ大切に納め下さい。尚、申し訳ありませんが、全てのお宅に伺えませんので、お送りさせていただくお宅もございます。どうぞご了承下さい。

尚、お伺いする時間が前後する場合がありますので、どうぞご承知おき下さい。

### 一、年回法要について 平成三十一年の年回は次の通りです。

一 周 忌	平成三十年	二十三 回 忌	平成 九 年
三 回 忌	平成二十九年	二十七 回 忌	平成 五 年
七 回 忌	平成二十五年	三十三 回 忌	昭和六十二年
十三 回 忌	平成十九年	五十 回 忌	昭和四十五年
十七 回 忌	平成十五年	百 回 忌	大正 九 年